

令和元年度学校基本調査（確定値）の公表について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。
今般、令和元年度の確定値をとりまとめたので、公表します。

1 調査内容

- (1) 調査期日：令和元年5月1日現在
- (2) 調査対象：幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学，短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会
- (3) 調査項目：学校数，在学者数，教員数，卒業者数，進学者数，就職者数等

2 調査結果の主な概要（カッコ書きのカタカナは次ページ以降の図表とリンク。）

(1) 在学者数（P.1の表1，P.2の表2及びP.3の図1を参照。）

在学者数は、多くの学校種で引き続き減少。ただし、幼保連携型認定こども園，義務教育学校，特別支援学校，専修学校，大学の在学者数は増加。

- ① 幼保連携型認定こども園は69万5千人で、前年度より9万1千人増加（ア）。
- ② 大学は291万9千人で、前年度より1万人増加（イ）。

(2) 高等教育機関への進学率（P.5の図3を参照。）

- ① 高等教育機関進学率は82.8%（前年度より1.3ポイント上昇）で過去最高。
- ② 大学・短大進学率は58.1%（前年度より0.2ポイント上昇）で過去最高。
- ③ 大学（学部）進学率は53.7%（前年度より0.4ポイント上昇）で過去最高。
- ④ 専門学校進学率は23.8%（前年度より1.1ポイント上昇）。

(3) 卒業者に占める就職者の割合

（P.4の表3，P.6の表4，P.9の表5，P.10の表6を参照。）

- ① 高校卒業者は17.6%（ウ）（前年度より0.1ポイント上昇）。
このうち、正規雇用は17.5%（エ）（前年度より0.1ポイント上昇）。
- ② 大学卒業者（学部）は78.0%（オ）（前年度より0.9ポイント上昇）。
このうち、正規雇用は75.3%（カ）（前年度より1.2ポイント上昇）。
- ③ 大学院修了者（修士課程）は78.6%（キ）（前年度より0.1ポイント上昇）で過去最高。
このうち、正規雇用は75.9%（ク）（前年度より0.1ポイント上昇）。
- ④ 大学院修了者（博士課程）は69.0%（ケ）（前年度より1.3ポイント上昇）で過去最高。
このうち、正規雇用は54.8%（コ）（前年度より1.2ポイント上昇）。

(4) 女子学生、女性教員の割合

(P.11 の図 1 1 及び図 1 2, P.12 の図 1 3, P.13 の図 1 4 及び図 1 5 を参照。)

- ① 大学における女子学生の割合
 - ・ 学部 45.4% (前年度より0.3ポイント上昇) で過去最高。
 - ・ 修士課程 31.6% (前年度より0.3ポイント上昇) で過去最高。
 - ・ 博士課程 33.7% (前年度より0.1ポイント上昇) で過去最高。
- ② 女性教員の割合 53.3% (前年度より0.6ポイント上昇) で過去最高。
- ③ 女性管理職の割合 29.0% (前年度より1.1ポイント上昇) で過去最高。

その他の主な結果は、「令和元年度学校基本調査調査結果のポイント」のとおり。
なお、詳細集計表は「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」のホームページに掲載。

(<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>)

＜担当＞ 総合教育政策局調査企画課	
課長	岸本 哲哉
分析調査官	牧野 浩司
学校基本調査係長	大塩 宏太
電話：03-5253-4111 (内線2016, 2264)	

令和元年度学校基本調査調査結果のポイント

I. 学校数, 在学者数, 教員数

1. 初等中等教育機関, 専修学校・各種学校

< 在学者数等 >

- 幼稚園は, 114万6千人で, 前年度より6万2千人減少。
- 幼保連携型認定こども園は, 69万5千人で, 前年度より9万1千人増加。
- 小学校は, 636万9千人で, 前年度より5万9千人減少し, 過去最少。
- 中学校は, 321万8千人で, 前年度より3万4千人減少し, 過去最少。
- 義務教育学校は, 4万1千人で, 前年度より6千人増加。
- 高等学校は, 316万8千人で, 前年度より6万7千人減少。
- 中等教育学校は, 3万2千人で, 前年度とほぼ同数。
- 特別支援学校は, 14万4千人で, 前年度より1千人増加し, 過去最多。
- 専修学校は, 66万人で, 前年度より7千人増加。
うち高等課程は, 3万5千人で, 前年度より1千人減少。
- 各種学校は, 11万7千人で, 前年度より6千人減少。

< 教員数 >

- 教員数のうち女性の教員数は, 高等学校と特別支援学校で過去最多。また, 教員全体に占める女性の割合は中学校43.5%(前年度より0.2ポイント上昇), 高等学校32.3%(前年度より0.2ポイント上昇), 特別支援学校61.6%(前年度より0.3ポイント上昇)で過去最高。

表1 初等中等教育機関, 専修学校・各種学校の学校数, 在学者数, 教員数

区 分	学 校 数 (校)				在 学 者 数 (人)				教 員 数 (人)		
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率(%)
幼 稚 園	(-404)	(-)	(-254)	(-150)	(-62,308)	(-87)	(-18,725)	(-43,496)	(-2,013)	(-1,955)	(-0.1)
	10,070	49	3,483	6,538	1,145,576	5,243	168,037	972,296	93,579	87,386	93.4
幼 保 連 携 型 認 定 こ ど も 園	(755)	(-)	(93)	(662)	(91,260)	(-)	(9,992)	(81,268)	(16,632)	(15,759)	(-)
	5,276	-	743	4,533	695,214 (ア)	-	85,063	610,151	109,515	103,728	94.7
小 学 校	(-154)	(-1)	(-159)	(6)	(-59,317)	(-490)	(-59,229)	(402)	(1,276)	(832)	(-)
	19,738	69	19,432	237	6,368,550	37,347	6,253,022	78,181	421,935	262,277	62.2
中 学 校	(-48)	(-1)	(-50)	(3)	(-33,533)	(-939)	(-33,374)	(780)	(-404)	(376)	(0.2)
	10,222	70	9,371	781	3,218,137	28,700	2,950,331	239,106	246,825	107,479	43.5
義 務 教 育 学 校	(12)	(1)	(11)	(-)	(6,188)	(733)	(5,455)	(-)	(505)	(252)	(-0.5)
	94	3	91	-	40,747	2,335	38,412	-	3,520	1,869	53.1
高 等 学 校	(-10)	(-)	(-9)	(-1)	(-67,292)	(-103)	(-52,842)	(-14,347)	(-1,483)	(26)	(0.2)
	4,887	15	3,550	1,322	3,168,369	8,476	2,132,078	1,027,815	231,319	74,686	32.3
中 等 教 育 学 校	(1)	(-)	(1)	(-)	(-172)	(-48)	(23)	(-147)	(13)	(7)	(-)
	54	4	32	18	32,153	2,951	22,390	6,812	2,642	918	34.7
特 別 支 援 学 校	(5)	(-)	(5)	(-)	(1,055)	(6)	(1,008)	(41)	(736)	(709)	(0.3)
	1,146	45	1,087	14	144,434	2,951	140,669	814	85,336	52,588	61.6
専 修 学 校	(-23)	(-)	(-2)	(-21)	(6,561)	(-26)	(-620)	(7,207)	(-142)	(-113)	(-0.1)
	3,137	9	187	2,941	659,693	342	24,336	635,015	41,104	21,695	52.8
うち高等課程 を置く学校	(-4)	(-)	(-)	(-4)	(-1,207)	(-2)	(7)	(-1,212)	(-10)	(-20)	(-0.6)
	408	1	6	401	35,071	9	482	34,580	2,603	1,399	53.7
各 種 学 校	(-45)	(-)	(-)	(-45)	(-6,355)	(-)	(-36)	(-6,319)	(-91)	(-3)	(0.4)
	1,119	-	6	1,113	116,920	-	495	116,425	8,821	3,835	43.5

(注) ()は, 前年度からの増減値である。

2. 高等教育機関

< 在学者数 >

○ 大学全体(学部・大学院・専攻科・別科の学生等を含む。)の在学者数は、昨年度に引き続き増加。

・ 大学全体 291万9千人で、前年度より1万人増加。

うち学部 260万9千人で、前年度より9千人増加。

うち大学院 25万5千人で、前年度より1千人増加。

○ 大学学部の女子学生は、118万4千人で、前年度より1万2千人増加し、過去最多。

また、学生全体に占める女子の割合は、45.4%(前年度より0.3ポイント上昇)で過去最高。

○ 短期大学学生数は、平成5年度に過去最多となり、翌年度から減少し続け、平成に入ってから過去最少。

○ 専門学校生徒数は、59万8千人で、前年度より1万人増加。

< 教員数 >

○ 大学全体の女性の教員数は、4万8千人(前年度より1千人増加)で過去最多。

また、教員全体に占める女性の割合は、25.3%(前年度より0.5ポイント上昇)で過去最高。

表2 高等教育機関の学校数、在学者数、教員数

区分	学校数(校)				在学者数(人)						教員数(人)			
	計	国立	公立	私立	計	うち女子	女子の比率(%)	国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率(%)	
大 学	(4) (-) (-) (4)				(9,509)	(12,689)	(0.3)	(-2,520)	(2,656)	(9,373)	(699)	(1,124)	(0.5)	
	786	86	93	607	2,918,668	(イ) 1,293,095	44.3	606,449	158,176	2,154,043	187,862	47,618	25.3	
	うち学部	(5) (-) (-) (5)				(9,464)	(11,792)	(0.3)	(-2,432)	(2,356)	(9,540)			
	761	82	91	588	2,609,148	1,183,962	45.4	437,401	138,653	2,033,094				
	うち大学院	(6) (-) (1) (5)				(608)	(963)	(0.3)	(-358)	(303)	(663)			
	642	86	84	472	254,621	82,427	32.4	152,774	16,428	85,419				
	うち修士課程	(6) (-) (1) (5)				(-839)	(263)	(0.3)	(-691)	(80)	(-228)			
	614	86	82	446	162,261	51,317	31.6	95,353	10,653	56,255				
うち博士課程	(2) (-) (3) (-1)				(344)	(208)	(0.1)	(-107)	(201)	(250)				
458	77	66	315	74,711	25,212	33.7	50,571	5,052	19,088					
うち専門職 学位課程	(-3) (-) (-) (-3)				(1,103)	(492)	(0.7)	(440)	(22)	(641)				
125	61	7	57	17,649	5,898	33.4	6,850	723	10,076					
短 期 大 学	(-5) (-) (-) (-5)				(-6,022)	(-5,664)	(-0.3)	(-)	(-480)	(-5,542)	(-220)	(-89)	(0.3)	
	326	-	17	309	113,013	99,866	88.4	-	5,741	107,272	7,440	3,916	52.6	
高 等 専 門 学 校	(-) (-) (-) (-)				(-343)	(384)	(0.8)	(-247)	(25)	(-121)	(-55)	(13)	(0.5)	
	57	51	3	3	57,124	11,321	19.8	51,298	3,781	2,045	4,169	466	11.2	
専 門 学 校	(-) (-) (-2) (2)				(9,555)	(3,716)	(-0.3)	(-24)	(-625)	(10,204)	(-155)	(-74)	(0.1)	
	2,805	9	184	2,612	597,870	340,465	56.9	333	23,849	573,688	37,393	20,103	53.8	

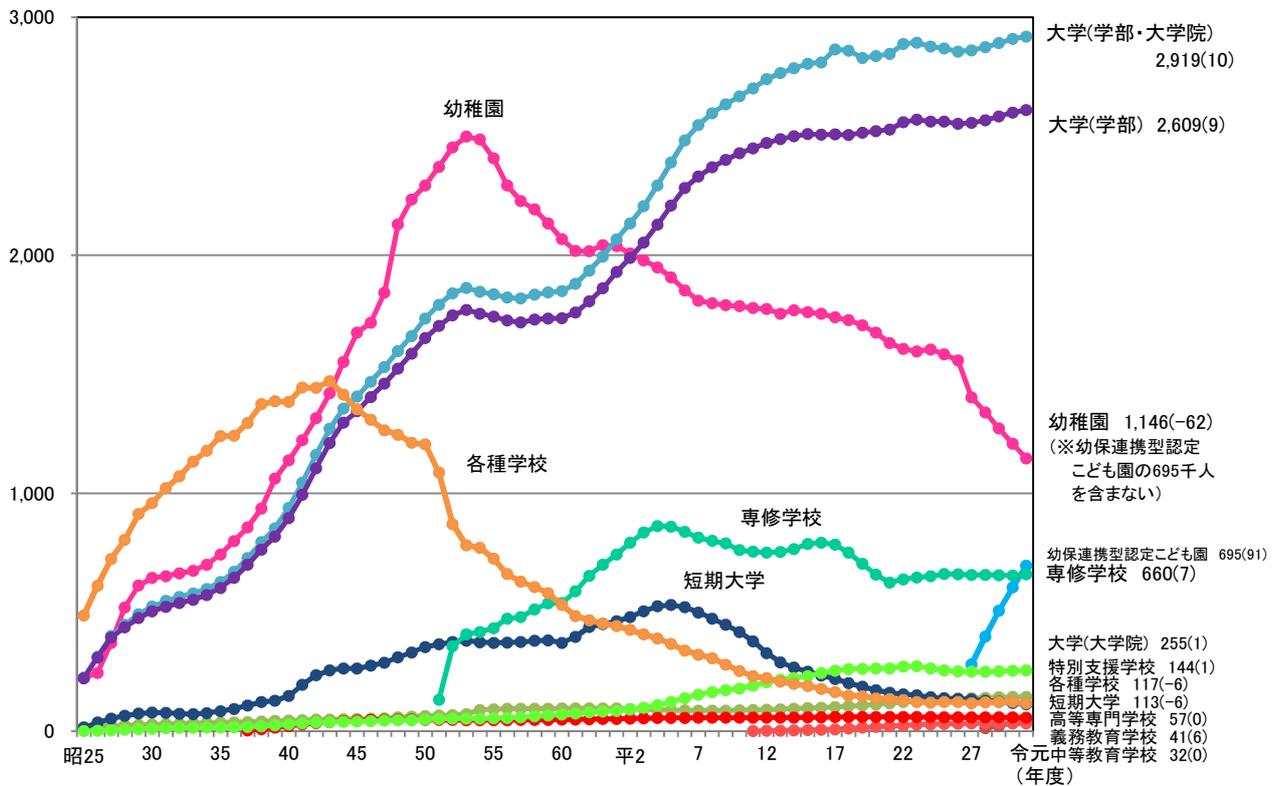
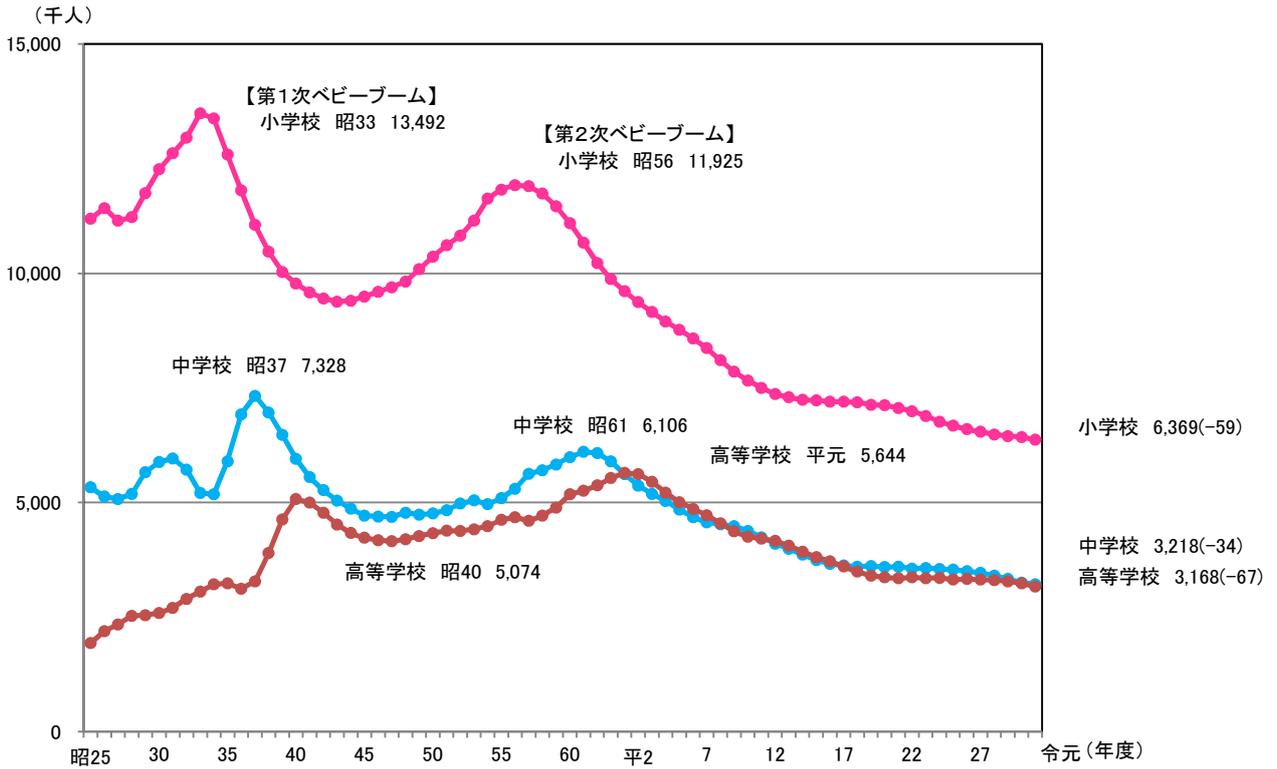
(注) 1 ()は、前年度からの増減値である。

2 「在学者数」には、学部学生・本科学士のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

3 「大学」のうち数については、在学者がいる学校数を計上している。

4 「専門学校」とは、専修学校のうち専門課程を置く学校をいう。(以下、同じ。)

【参考】各学校段階ごとの在学者数の推移(図1)



(注) 1 ()内の数値は、前年度からの増減値(単位:千人)である。
 2 特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。
 3 大学(学部・大学院)には、学部学生、大学院学生のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

II. 卒業後の状況

1. 高等学校(全日制・定時制)卒業者(中等教育学校後期課程卒業者を含む。以下同じ。)

- 卒業者に占める大学・短期大学への進学者の割合は54.8%(うち、大学(学部)50.0%)で、前年度と同率。
 - 卒業者に占める専門学校への進学者の割合は16.3%で、前年度より0.4ポイント上昇。
 - 卒業者に占める就職者の割合は17.6%(うち、正規の職員等17.5%)で、前年度より0.1ポイント上昇。
-
- 高等教育機関への進学率(過年度卒を含む)は82.8%で、前年度より1.3ポイント上昇し、過去最高。
 - 大学・短期大学進学率(過年度卒を含む)は58.1%で、前年度より0.2ポイント上昇し、過去最高。大学(学部)進学率(過年度卒を含む)は53.7%で、前年度より0.4ポイント上昇し、過去最高。

表3 高等学校卒業後の状況

(単位:人,%)

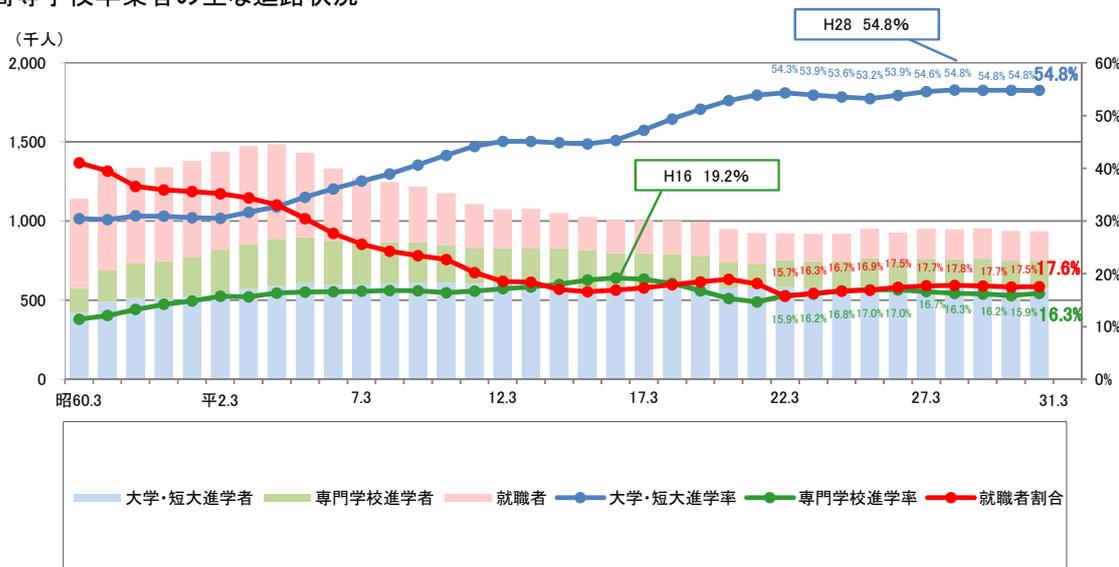
区分	卒業者	大学・短大 進学者(率)	うち大学(学部) 進学者(率)	専門学校 進学者(率)	専修学校 (一般課程)等 入学者(率)	公共職業能力 開発施設等 入学者(率)	就職者 (卒業者に占める 就職者の割合)	うち正規の職員 等(率)	一時的な仕事に 就いた者(率)	左記以外の者 (率)
平成22年3月	1,071,422	582,272 (54.3)	513,013 (47.9)	170,352 (15.9)	68,117 (6.4)	7,696 (0.7)	168,727 (15.7)	...	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)
23年3月	1,064,074	573,679 (53.9)	507,509 (47.7)	172,200 (16.2)	66,592 (6.3)	6,904 (0.6)	173,566 (16.3)	...	14,994 (1.4)	56,965 (5.4)
24年3月	1,056,387	565,779 (53.6)	503,545 (47.7)	177,486 (16.8)	64,305 (6.1)	6,796 (0.6)	176,931 (16.7)	...	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)
25年3月	1,091,614	581,144 (53.2)	517,416 (47.4)	185,588 (17.0)	66,494 (6.1)	6,852 (0.6)	184,656 (16.9)	...	13,623 (1.2)	53,951 (4.9)
26年3月	1,051,343	566,309 (53.9)	505,240 (48.1)	178,735 (17.0)	57,154 (5.4)	6,412 (0.6)	183,635 (17.5)	...	11,957 (1.1)	47,795 (4.5)
27年3月	1,068,989	583,533 (54.6)	522,656 (48.9)	178,069 (16.7)	55,468 (5.2)	6,383 (0.6)	189,739 (17.7)	187,677 (17.6)	9,616 (0.9)	46,721 (4.4)
28年3月	1,064,352	583,704 (54.8)	525,195 (49.3)	173,629 (16.3)	57,006 (5.4)	6,165 (0.6)	189,868 (17.8)	188,053 (17.7)	8,397 (0.8)	46,057 (4.3)
29年3月	1,074,655	589,121 (54.8)	532,558 (49.6)	173,939 (16.2)	56,912 (5.3)	6,367 (0.6)	190,311 (17.7)	188,847 (17.6)	7,797 (0.7)	50,641 (4.7)
30年3月	1,061,565	581,958 (54.8)	527,996 (49.7)	169,058 (15.9)	58,083 (5.5)	6,245 (0.6)	186,289 (17.5)	184,921 (17.4)	6,987 (0.7)	53,199 (5.0)
31年3月	1,055,807	578,382 (54.8)	527,457 (50.0)	172,339 (16.3)	53,389 (5.1)	5,962 (0.6)	185,613 (17.6)	184,523 (17.5)	6,526 (0.6)	53,548 (5.1)

(注) 1 「就職者」には、大学・短大・専門学校等に進学した者のうち就職している者を含む。

2 大学・短期大学進学率 = $\frac{\text{大学の学部, 短期大学の本科, 大学・短期大学の通信教育部, 同別科及び高等学校・特別支援学校高等部の専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$

3 卒業者に占める就職者の割合 = $\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$

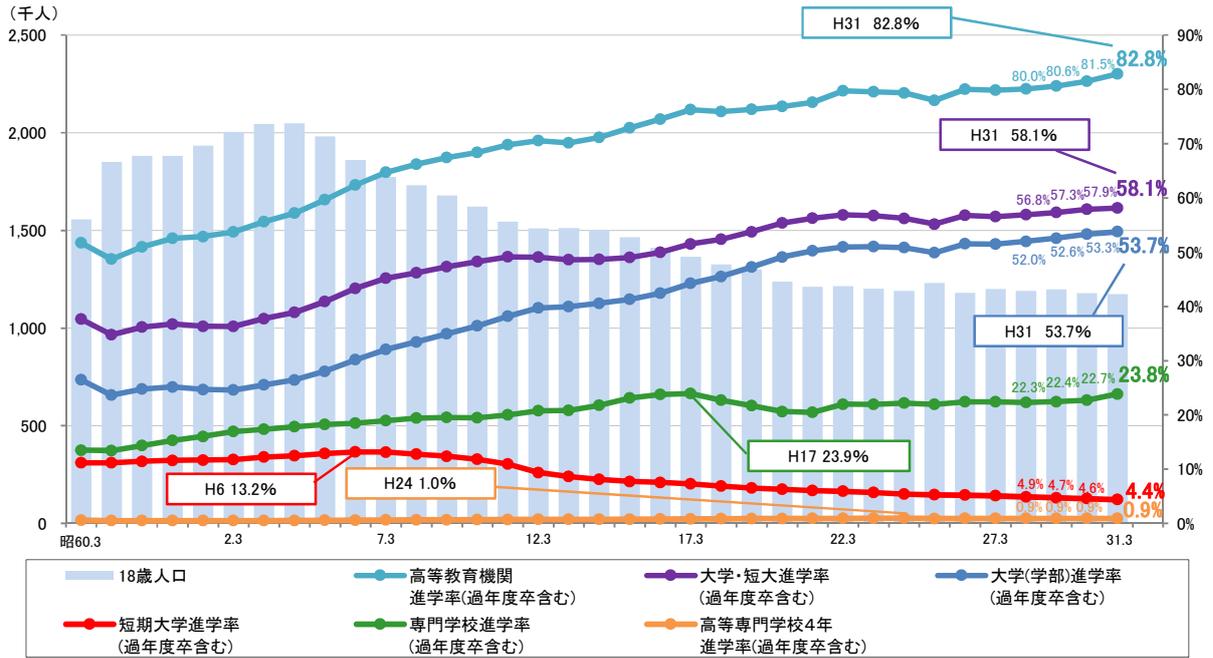
図2 高等学校卒業者の主な進路状況



(注) 1 図中の枠囲いは、最高値である。(以下、同じ)

2 就職者割合の最高値は、昭和36年3月の64.0%。

図3 高等教育機関への進学率(過年度卒を含む)



(注) 1 高等教育機関進学率(過年度卒を含む) = $\frac{\text{大学・短期大学入学者, 高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

2 大学(学部)進学率(過年度卒を含む) = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

2. 大学(学部)卒業生

- 大学院等への進学率は、ゆるやかな上昇傾向にあったが、平成22年度(平成22年3月)をピークに、9年連続低下し、11.4%(前年度より0.4ポイント低下)。
- 卒業者に占める就職者の割合は、平成22年度(平成22年3月)に急激に低下したが、その後9年連続で上昇し、78.0%(前年度より0.9ポイント上昇)。このうち、正規の職員等は75.3%(前年度より1.2ポイント上昇)。
- 「一時的な仕事に就いた者」の割合は、前年度より低下し、1.4%(前年度より0.1ポイント低下)。

表4 大学(学部)卒業後の状況

(単位:人,%)

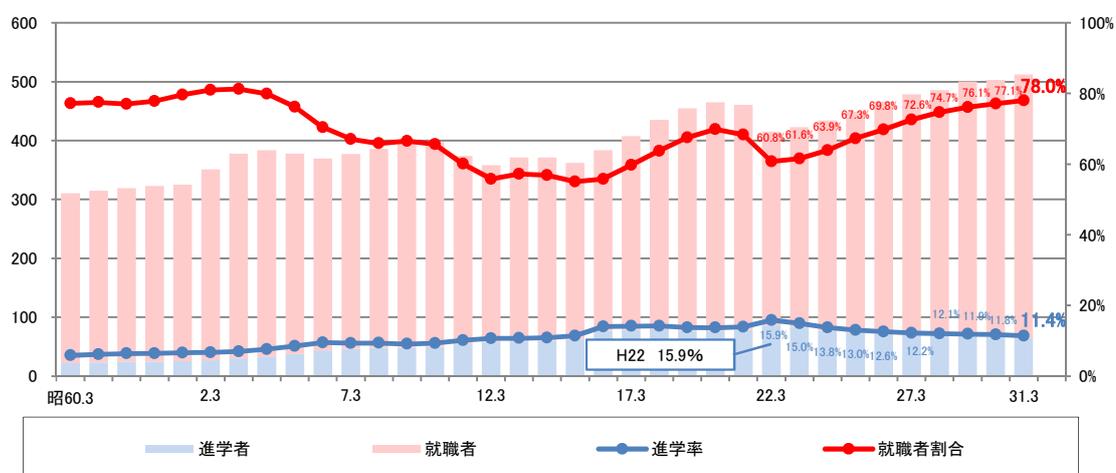
区分	卒業生	進学者(率)	就職者 (卒業者に占める 就職者の割合)		臨床研修医(率)	一時的な仕事 に就いた者(率)	左記以外の者(率)
				うち正規の職員等 (率)			
平成22年3月	541,428	86,039 (15.9)	329,190 (60.8)	… (…)	8,944 (1.7)	19,332 (3.6)	87,174 (16.1)
23年3月	552,358	82,657 (15.0)	340,217 (61.6)	… (…)	8,923 (1.6)	19,107 (3.5)	88,007 (15.9)
24年3月	558,692	76,856 (13.8)	357,088 (63.9)	335,095 (60.0)	8,893 (1.6)	19,569 (3.5)	86,566 (15.5)
25年3月	558,853	72,822 (13.0)	375,957 (67.3)	353,175 (63.2)	8,984 (1.6)	16,736 (3.0)	75,929 (13.6)
26年3月	565,573	71,387 (12.6)	394,845 (69.8)	372,569 (65.9)	8,899 (1.6)	14,519 (2.6)	68,484 (12.1)
27年3月	564,035	68,958 (12.2)	409,759 (72.6)	388,611 (68.9)	9,056 (1.6)	11,730 (2.1)	58,102 (10.3)
28年3月	559,678	67,563 (12.1)	418,163 (74.7)	399,025 (71.3)	9,418 (1.7)	10,184 (1.8)	48,866 (8.7)
29年3月	567,763	67,734 (11.9)	432,333 (76.1)	413,971 (72.9)	9,313 (1.6)	9,183 (1.6)	44,182 (7.8)
30年3月	565,436	66,830 (11.8)	436,156 (77.1)	419,088 (74.1)	9,603 (1.7)	8,684 (1.5)	39,854 (7.0)
31年3月	572,639	65,355 (11.4)	446,882 (78.0)	430,957 (75.3)	9,851 (1.7)	8,165 (1.4)	38,232 (6.7)

(オ) (カ)

- (注) 1 「進学者」には、専修学校・外国の学校等に入学した者を含む。(以下、同じ。)
- 2 「就職者」には、「大学院等への進学者」のうち就職している者を含む。(以下、同じ。)
- 3 「就職者」のうち、「正規の職員等」とは、雇用の期間の定めのないものとして就職した職員・従業員、自営業主等をいう。(以下、同じ。)
- 4 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を得る仕事に就いた者であり、雇用の期間が1年未満又は雇用の期間の長さにかかわらず短時間勤務の者(パート、アルバイトなど)をいう。(以下、同じ。)
- 5 進学率 = $\frac{\text{大学院研究科, 大学学部, 短期大学本科, 大学・短期大学の専攻科・別科, 専修学校, 外国の学校へ入学した者}}{\text{各年3月の大学学部卒業生}}$ (以下、同じ。)
- 6 卒業者に占める就職者の割合 = $\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の大学学部卒業生}}$ (以下、同じ。)

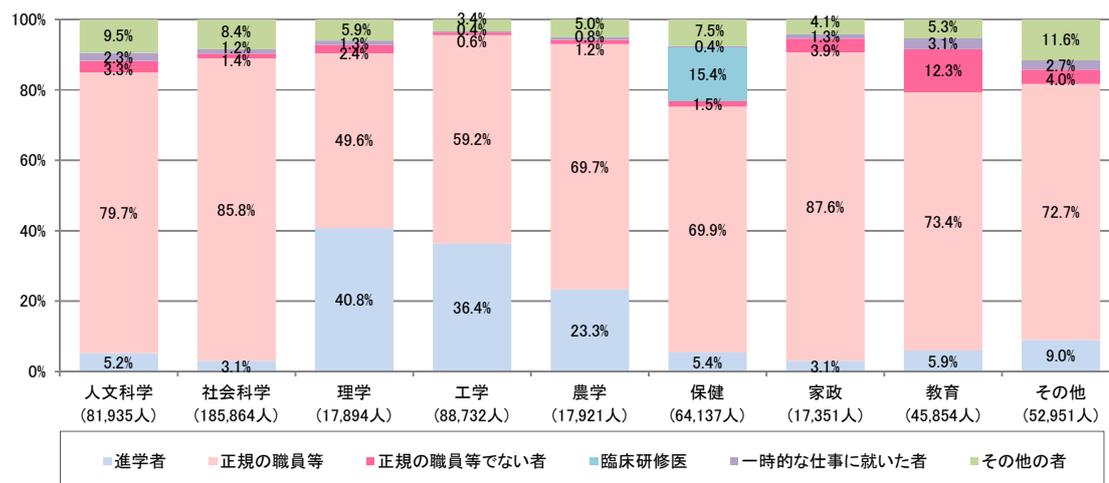
図4 大学(学部)卒業生の主な進路状況

(千人)



- (注) 就職者割合の最高値は、昭和37年3月の86.6%。

図5 分野別卒業者の進路状況

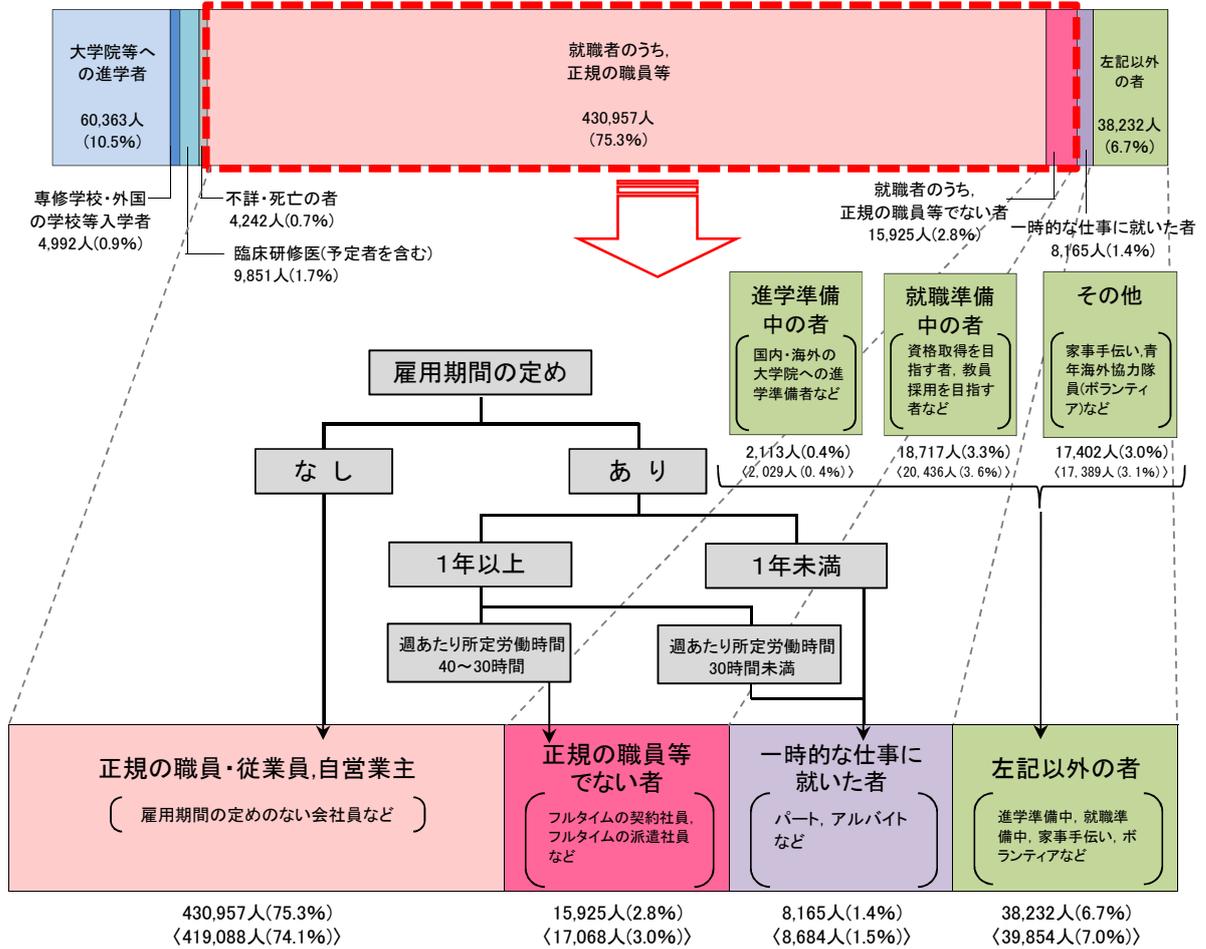


- (注) 1 各項目の数値は、卒業者に対する比率である。(以下、同じ。)
- 2 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。(以下、同じ。)
- 3 「就職者」には、進学しかつ就職した者を含むため、各項目の計が100%を越える場合がある。(以下、同じ。)
- 4 「教育」分野の「正規の職員等でない者」には、教員の臨時的任用を含む。(以下、同じ。)
- 5 「保健」には、「医・歯学」、「薬学」及び「看護学」分野の卒業者を含む。(以下、同じ。)
- 6 「その他」には、「芸術」及び「商船」分野の卒業者を含む。(以下、同じ。)
- 7 「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者であり、かつ1週間の所定の労働時間がおおむね40～30時間程度の者(フルタイムの契約社員、フルタイムの派遣社員など)をいう。(以下、同じ。)

【参考】大学学部卒業者における「就職者」の「正規の職員等」・「正規の職員等でない者」・「一時的な仕事に就いた者」・「左記以外の者」の関係(図6)

■大学(学部)卒業者数計:572,639人(100%)

 = 学校基本調査における「就職者」



(注) 1 〈 〉内は、前年度の数値である。

2 「就職者」には、進学しかつ就職した者を含む。

3. 修士課程修了者

○ 修了者に占める就職者の割合は、9年連続で上昇し、78.6%(前年度より0.1ポイント上昇)となり、過去最高。

表5 修士課程修了者の卒業後の状況

(単位:人,%)

区分	修了者	大学院等 進学者(率)	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)		臨床研修医(率)	一時的な仕事 に就いた者(率)	左記以外の者(率)
			うち正規の職員等 (率)	(率)			
平成22年3月	73,220	9,101 (12.4)	52,278 (71.4)	...	— (—)	1,099 (1.5)	8,687 (11.9)
23年3月	74,680	8,508 (11.4)	54,188 (72.6)	...	— (—)	997 (1.3)	9,048 (12.1)
24年3月	78,711	8,123 (10.3)	57,659 (73.3)	55,204 (70.1)	— (—)	1,199 (1.5)	10,266 (13.0)
25年3月	76,511	7,972 (10.4)	56,381 (73.7)	53,963 (70.5)	— (—)	1,270 (1.7)	9,540 (12.5)
26年3月	73,154	7,691 (10.5)	54,450 (74.4)	52,127 (71.3)	— (—)	1,177 (1.6)	8,751 (12.0)
27年3月	71,301	7,360 (10.3)	54,345 (76.2)	52,069 (73.0)	— (—)	1,118 (1.6)	7,498 (10.5)
28年3月	71,016	6,976 (9.8)	55,046 (77.5)	52,678 (74.2)	— (—)	1,021 (1.4)	6,986 (9.8)
29年3月	71,187	6,860 (9.6)	55,656 (78.2)	53,458 (75.1)	— (—)	989 (1.4)	6,795 (9.5)
30年3月	71,446	6,923 (9.7)	56,089 (78.5)	54,121 (75.8)	— (—)	864 (1.2)	6,828 (9.6)
31年3月	73,169	6,981 (9.5)	57,518 (78.6)	55,555 (75.9)	— (—)	921 (1.3)	6,842 (9.4)

(注) 「大学院等進学者」には、専修学校・外国の学校等に入学した者を含む。(以下、同じ。)

図7 修士課程修了者の主な進路状況

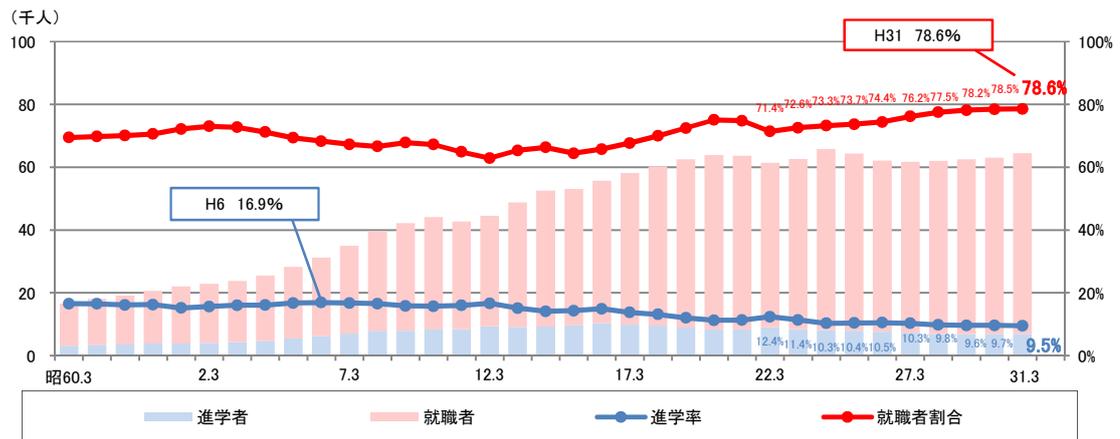
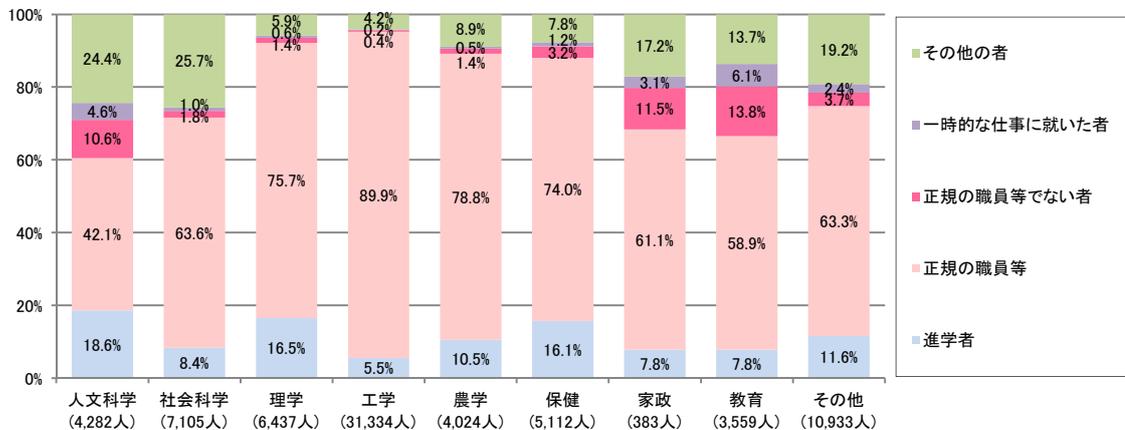


図8 分野別修了者の進路状況



4. 博士課程修了者

○ 修了者に占める就職者の割合は6年連続で上昇し、69.0%(前年度より1.3ポイント上昇)となり、過去最高。

表6 博士課程修了者の卒業後の状況

(単位:人,%)

区分	修了者	大学院等 進学者(率)	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)	うち正規の職員等 (率)	臨床研修医(率)	一時的な仕事 に就いた者(率)	左記以外の者(率)
平成22年3月	15,842	389 (2.5)	9,812 (61.9)	...	1 (0.0)	950 (6.0)	3,171 (20.0)
23年3月	15,892	350 (2.2)	10,160 (63.9)	...	1 (0.0)	1,022 (6.4)	2,867 (18.0)
24年3月	16,260	387 (2.4)	10,937 (67.3)	8,529 (52.5)	2 (0.0)	855 (5.3)	3,003 (18.5)
25年3月	16,445	291 (1.8)	10,828 (65.8)	8,307 (50.5)	1 (0.0)	998 (6.1)	3,082 (18.7)
26年3月	16,003	324 (2.0)	10,563 (66.0)	8,046 (50.3)	1 (0.0)	1,019 (6.4)	3,159 (19.7)
27年3月	15,684	265 (1.7)	10,541 (67.2)	8,062 (51.4)	1 (0.0)	944 (6.0)	2,967 (18.9)
28年3月	15,773	240 (1.5)	10,628 (67.4)	8,151 (51.7)	1 (0.0)	1,026 (6.5)	2,916 (18.5)
29年3月	15,658	257 (1.6)	10,601 (67.7)	8,346 (53.3)	— (—)	933 (6.0)	2,936 (18.8)
30年3月	15,658	225 (1.4)	10,603 (67.7)	8,391 (53.6)	3 (0.0)	833 (5.3)	2,981 (19.0)
31年3月	15,578	208 (1.3)	10,756 (69.0)	8,534 (54.8)	6 (0.0)	840 (5.4)	2,702 (17.3)

(注) 博士課程の「修了者」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む(以下同じ)。

図9 博士課程修了者の主な進路状況

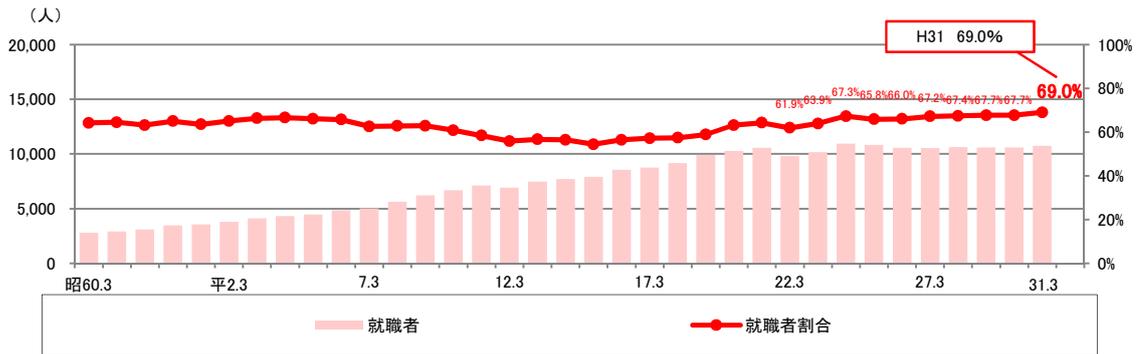


図10 分野別修了者の進路状況



Ⅲ. 女子学生, 女性教員

1. 女子学生の割合

○ 大学における女子学生の割合は, 学部45.4%(前年度より0.3ポイント上昇), 修士課程31.6%(前年度より0.3ポイント上昇), 博士課程33.7%(前年度より0.1ポイント上昇)となり, 過去最高。

図11 大学(学部)在学者に占める女子学生の割合(分野別)

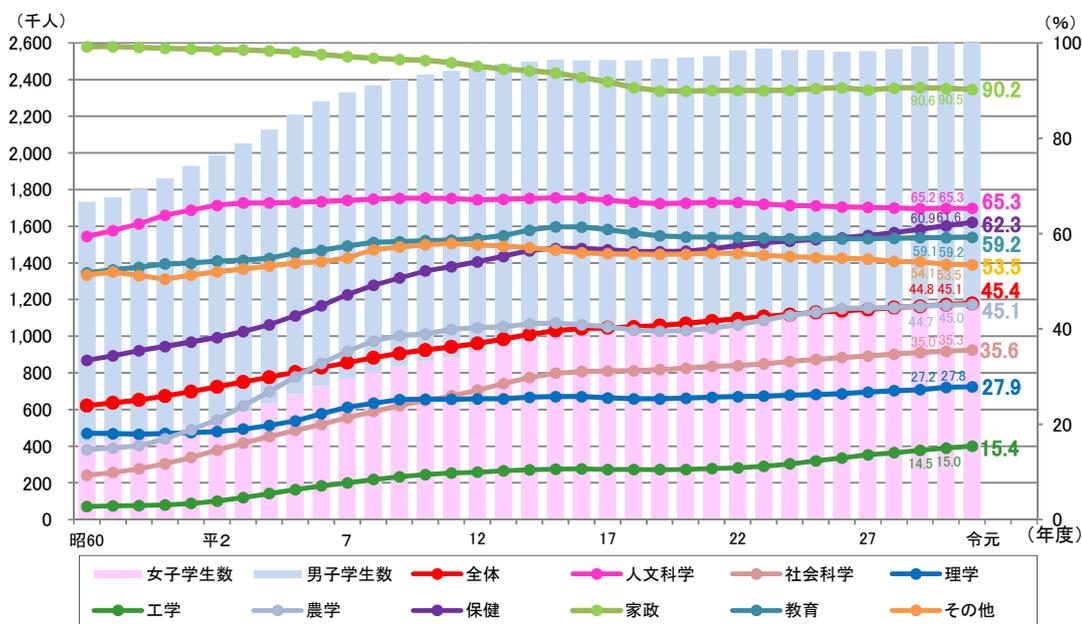


図12 修士課程在学者に占める女子学生の割合(分野別)

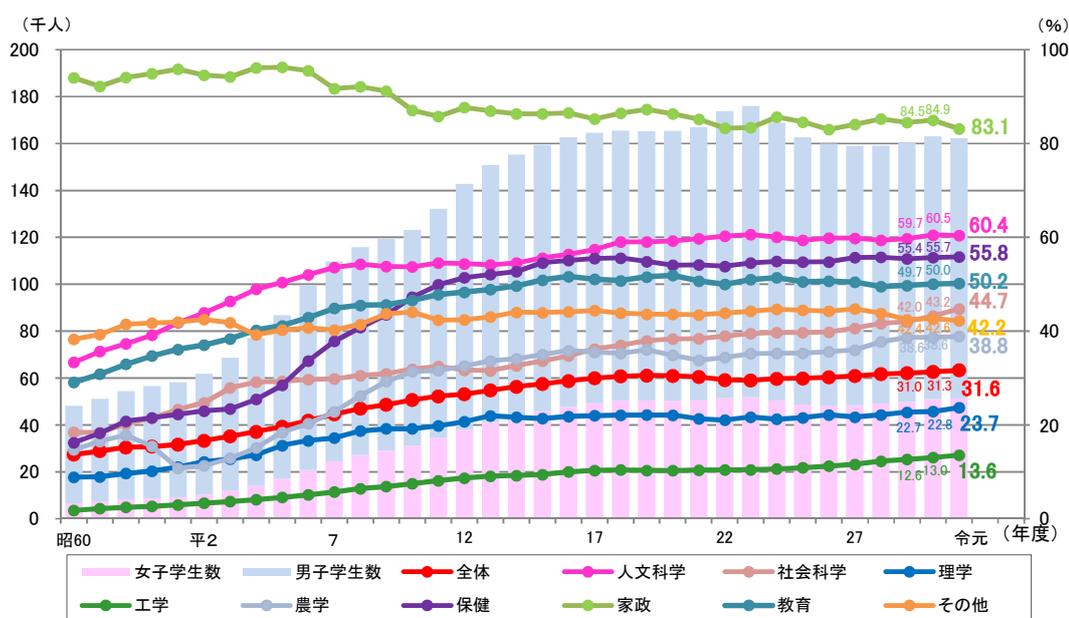
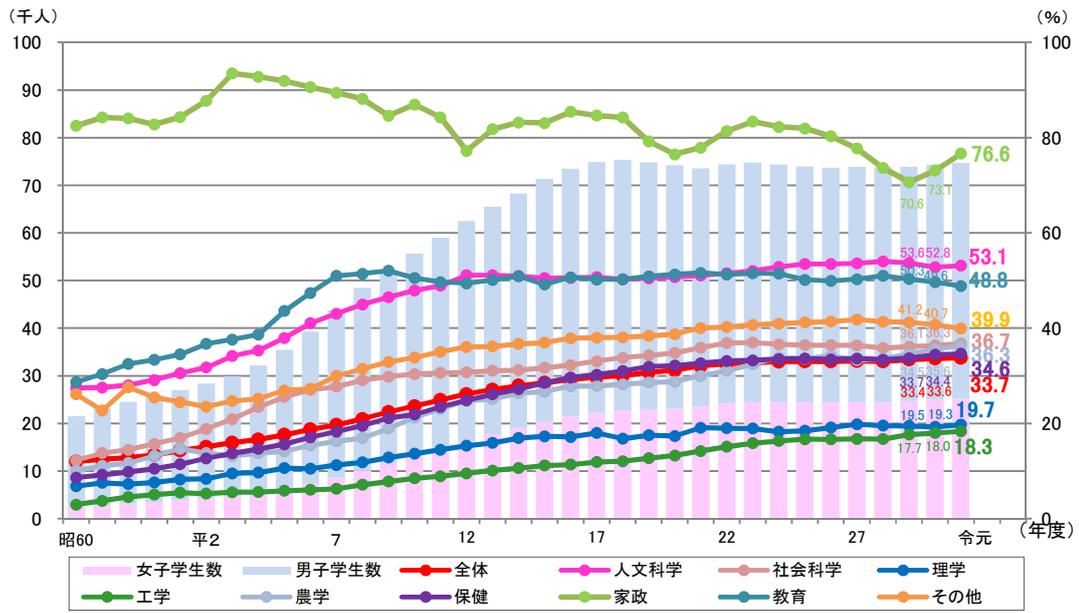


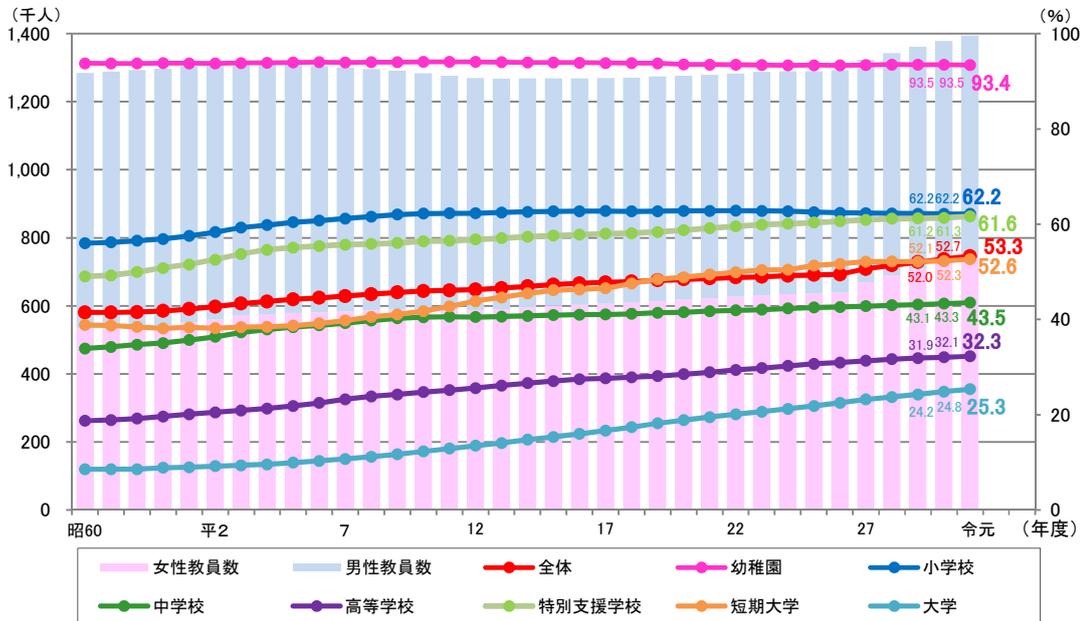
図13 博士課程在学者に占める女子学生の割合(分野別)



2. 女性教員の割合

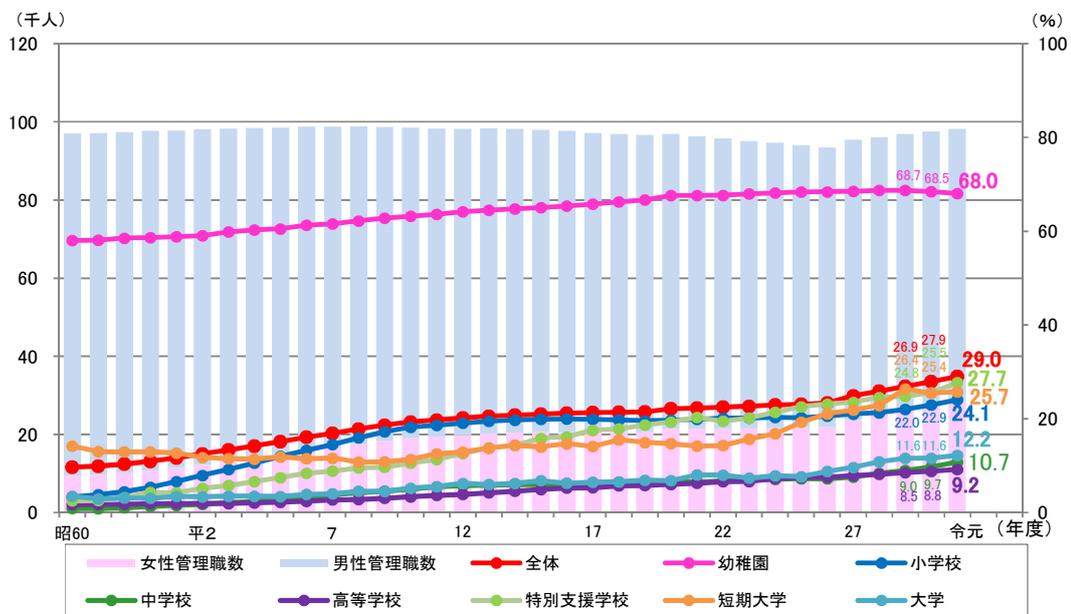
○ 女性教員の割合は、53.3%(前年度より0.6ポイント上昇)となり、過去最高。
女性管理職の割合は、29.0%(前年度より1.1ポイント上昇)となり、過去最高。

図14 女性教員の割合



(注) 「全体」には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学、大学の他、幼保連携型認定こども園、義務教育学校、中等教育学校、高等専門学校の教員を含む。

図15 女性管理職の割合



(注) 管理職数は、教員のうち校(園)長、副校(園)長、教頭、学長、副学長の数である。